

様々な利用者や従業員を守る対策を考える ～小名浜港エリア防災の視点～

対象災害を正しく知って、出来る対策を考え、皆で推進する。

1. スタジアムも含めエリア防災で考えるべき、対象災害は？

地震や海災(津波等)を対象災害

2. 災害発生時に、どのように影響が変化するか？ (対象事象を正しく知る)

過去の実績、国や県の想定から影響量を把握する(整理中)

3. 過去 類似災害での教訓を生かす。(東日本大震災のAAR/IP)

湾口防波堤の効果を知る、アクアマリンふくしまの事前対策が生きた(報告)

4. その上で命を守る対策をエリア防災の視点で協働する。

本協議会の延長上でコミュニティレジリエンスを展開

1, 3 小名浜港エリア防災への思考

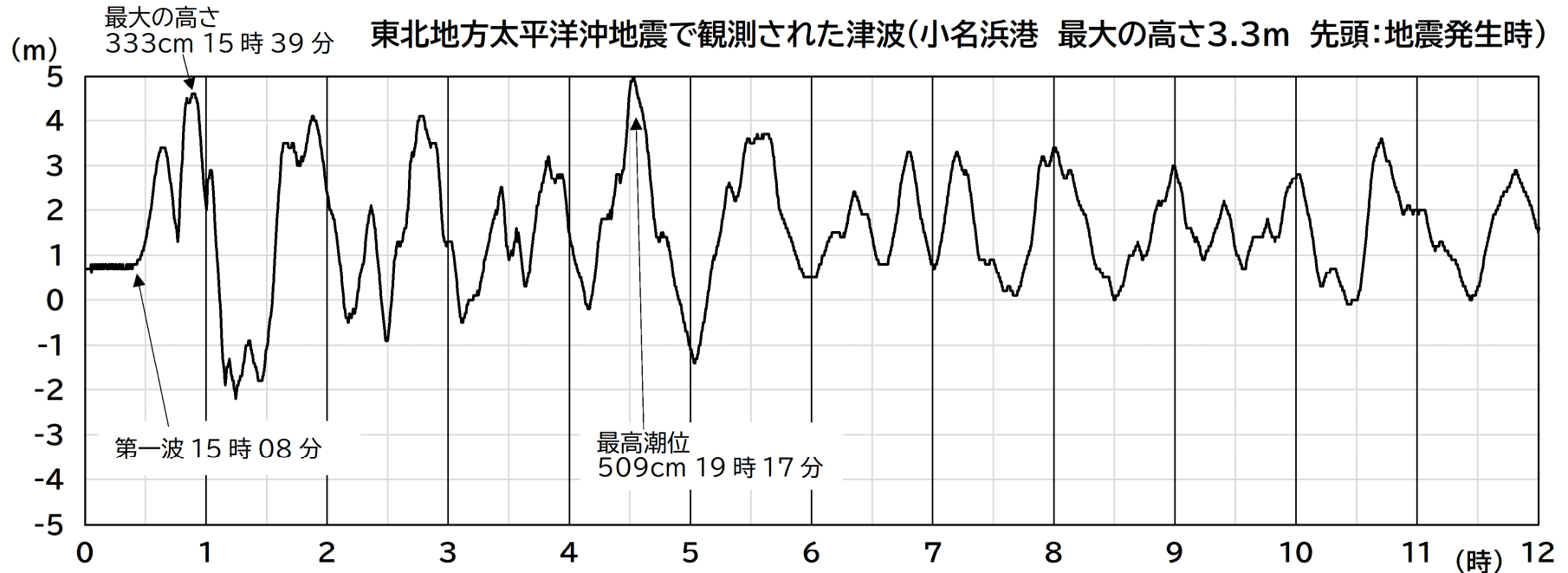


2 小名浜港 津波波形実績 (311東北地方太平洋沖地震)

小名浜港における津波波形(実績と予測)

出典:東北地方太平洋沖地震(気象庁)、想定南海トラフ・想定北部日本海・想定千島海溝(内閣府)データ

作成: 環境防災総合政策研究機構 上席研究員 草野富二雄(元気象庁地震火山部)



地震発生時刻:14 時 46 分 第一波が観測された時刻:15 時 08 分(地震発生から 22 分後)。

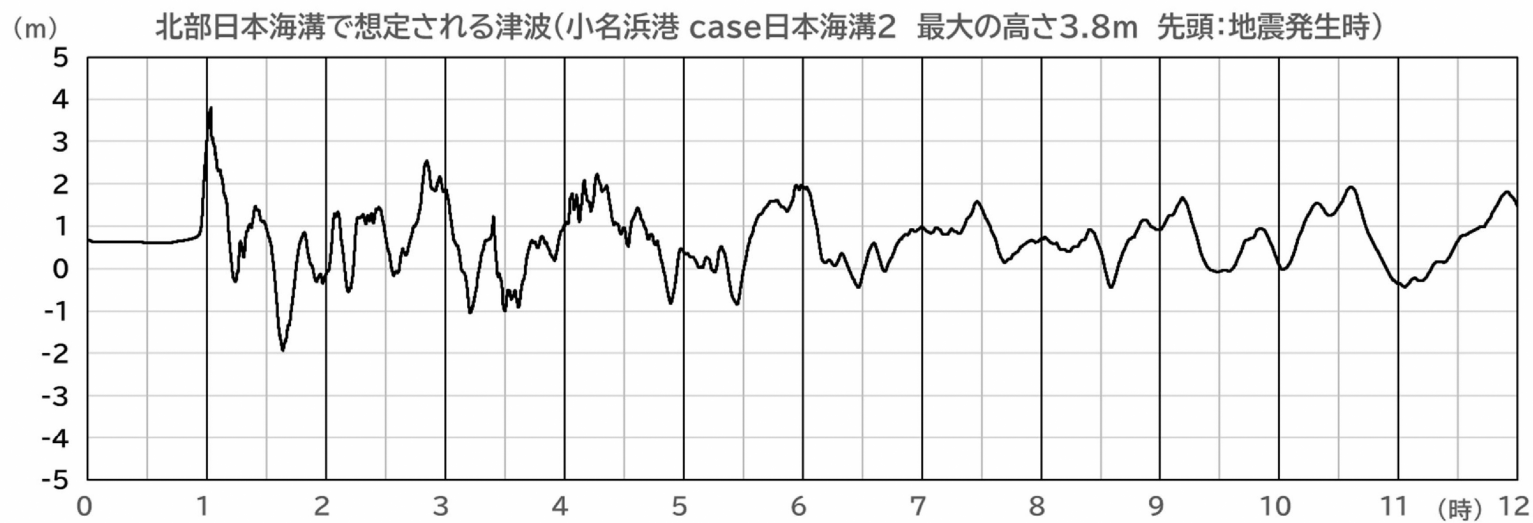
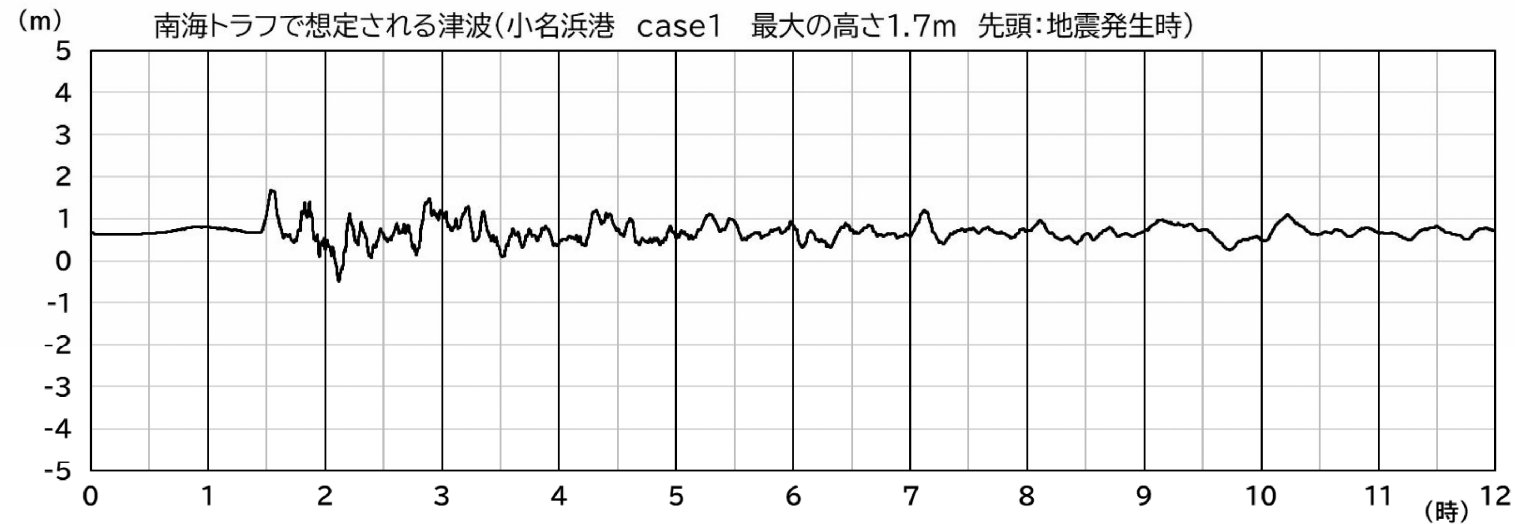
最大の高さが観測された時間と高さ:15 時 39 分(第一波から 31 分後)。333cm。

最高潮位が観測された時間と高さ:19 時 17 分(第一波から 4 時間 9 分後)。509cm。

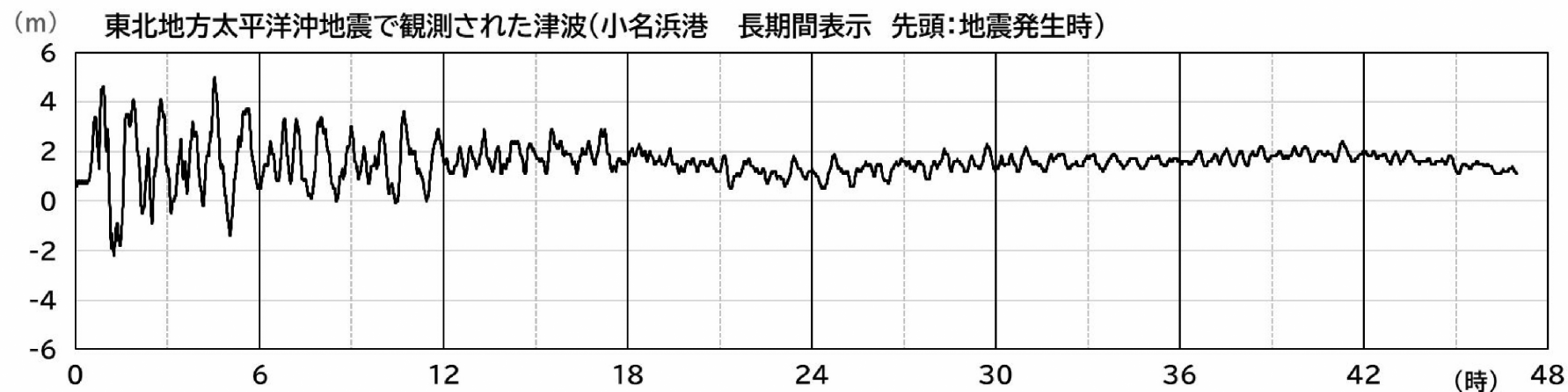
※最大の高さ:平常潮位との差。

※最高潮位:観測基準面(地震に伴う地殻変動によって変化しており、ここでは-185cm として扱っている)から測った潮位。

2 小名浜港 津波波形予想 (南海トラフ地震、日本海溝地震)



2 小名浜港 津波波形予想 (千島海溝地震)



対応策の一例 命を守る地震・津波タイムライン・イメージ

被害事象のシナリオに応じた行動計画を協働する

いつ（時系列）	何を（行動内容）	誰が（役割）			
		国や県の機関	いわき市	エリア内施設管理者	利用者や従業員
地震発生／津波情報への対応レベル	防災行動 				
被害の進捗 ↓ 平時（事前防災）	被害想定を理解（リスクの把握）	○	◎	○	△
	防災マップで避難場所・避難路を確認	○	○	○	△
	防災訓練の励行	○	○	○	○
	防災施設の強化・推進	◎	◎	◎	
	命を守る対応計画の策定と運用			◎	△
地震発生	緊急地震速報への対応行動	○	○	○	△
	突然の揺れから身を守る	○	○	○	○
津波警報	安全な場所への迅速な津波避難	○	○	○	○
	安否確認		◎	○	
	警報解除まで高台避難所への待機	○	○	○	○
後発注意地震情報など	自治体に情報への対応方針を確認	○	◎	○	
	迅速な避難方法の家族内共有	○	○	○	○
	より安全な場所への移動調整		◎	○	△

エリア防災体制の推進

